



㊦ 1月15日(金) ㊧ 役場

長年の功績を称えて

保護司としての長年のご尽力を称え、令和2年12月に亡くなられた故小山内忠氏へ上川陽子法務大臣より感謝状が贈呈されました。

平成24年11月25日から保護司として、非行のない明るい地域社会の実現等に向けて、職務を全うされてきました。



㊦ 1月14日(木) ㊧ 役場

公益のため多大な寄附

巽冷凍食品株式会社様（代表取締役会長 巽昭氏）に紺綬褒章が伝達されました。紺綬褒章は、公益のために多額の寄附をされた個人や法人に対して贈られるものです。

巽冷凍食品株式会社様は、令和元年12月、会社設立50周年の節目の年に、日頃の感謝を込めて、村の各種事業の推進に役立たせてほしいとのご厚意により、1千万円の寄附をされたことが称えられ受賞となりました。



㊦ 12月19日(土)～20日(日) ㊧ 岡山県倉敷市

全国大会で準優勝！！

岡山県倉敷市で開催された、「第17回西日本選抜学童軟式野球倉敷交流大会」に、知来別小学校の梅田航生君と、鬼志別小学校の佐藤晃陽君が、北海道代表の一員として参加し、みごと準優勝を飾りました。全35チームが参加する大会での準優勝は、大変すばらしい成績であり、全道各地の仲間たちとプレーできたことは、貴重な経験となりました。また、梅田君は選抜チームの主将として、チームをまとめる大役を任されるなど、選手としても、人としても成長出来る素晴らしい機会となりました。



㊦ 12月17日(木) ㊧ 役場

村民のために有効活用

猿払村漁業協同組合様（代表理事組合長 沖野平昭氏）から、村へ一般寄附として300万円が村長に手渡されました。

この寄附は資源枯渇の時代を乗り越え、現在の豊かな漁場を取り戻すことができたのは村民の協力と村の支援があつてのこととして、昭和50年代から継続されています。

長年にわたるご厚意に深く感謝し、村民のために有効活用してまいります。



㊦ 1月24日(日) ㊧ 農村環境改善センター

日本の文化を体験

小学校1年生から中学校3年生までを対象とした書き初め体験教室が行われ、15人が参加しました。村在住の庄崎裕史さんを講師に、まずは筆やすずり、文鎮などの道具の説明を受け、縦線や横線、丸などを書いて筆使いを練習。その後、学年ごとに決まった「うし」「正月」などの課題文字をお手本を確認しながら一字一字丁寧に書き上げました。

最後には、一番上手く書けた作品に名前を書き、役場で展示される書き初め展に出展しました。



㊦ 1月22日(金) ㊧ 鬼志別小学校

お祭り気分で楽しい給食！

鬼志別小学校1年生と6年生がバイキング給食を楽しみました。昨年からの感染症の影響で、地域のお祭りや行事などが開かれず、少しでも楽しい思い出を作ってあげたいとの思いから、お祭り気分が味わえるよう配膳場所を屋台風にアレンジしました。

子どもたちは、感染症対策がしっかり行われた中でバイキング給食を友達とお話しながら楽しそうに食べていました。また、6年生が1年生のお世話を、積極的に行っている姿が見られるなど、すてきな給食の時間となりました。



㊦ 1月13日(水) ㊧ 拓心中学校

バイキング給食で楽しい思い出を

今年は、感染症の影響で明るい話題が少ないため、3月に卒業を迎える中学3年生に楽しい思い出を作ってもらいたいとの思いからバイキング給食が開催されました。

メニューは、味噌ラーメンやカレーロールなど全10種類。感染症対策として席を十分に離しての給食となりましたが、時折笑顔がこぼれるなどとても楽しんでいる様子でした。また、生徒から給食センターの職員に、感謝の言葉とメッセージカードが送られるなど、楽しいバイキング給食となりました。



㊦ 12月23日(水)

福祉灯油で寒い冬を暖かく

非課税世帯の高齢者や障がい者、ひとり親家庭などの83世帯に対して、福祉灯油購入助成が行われました。

この事業は、生活の安定や福祉の増進を図ることを目的に、冬期間の暖房費の一部として、1万5千円を対象世帯に助成するものです。

助成金を受け取った方は、「ありがとう、助かるわ。」と笑顔でした。